

藤枝市中心市街地活性化協議会 会議録

会議名	平成28年度第1回藤枝市中心市街地活性化協議会
日時	平成28年4月27日(水) 10:30~11:30
場所	藤枝商工会議所 4F ホール
出席者	<p>会 長 小林正敏</p> <p>副 会 長 朝比奈 潔</p> <p>委 員 栗田隆生、八木重樹、秋田弘武、杉浦 衛、神戸一朗、寺島雅之、秋原恭大、北島多喜子、仲田和好、山本和子(代理)、栃本英雄、鈴木健夫、名倉順二、鈴木秀人(代理)、池谷 脩、青島勝昭、猪俣修一、本多和彦、藁科博伸、渡辺哲朗、田口敏行、井田久義、渡邊芳隆</p> <p>委任状出席 山田壽久、佐野芳正</p> <p>オブザーバー 藤枝警察署 渡邊崇彦、石川武男 静岡県交通基盤部都市計画課 浦山直己</p> <p>藤枝市中心市街地活性化推進課 課長 増田政巳 係長 齋藤栄一郎 山村浩二</p> <p>藤枝市商業観光課 課長 谷口昌教 係長 青嶋和徳 松浦洋平</p> <p>(株)まちづくり藤枝 水江志麻、梅原仁野</p> <p>藤枝商工会議所 事務局長 加藤久芳 課長 徳浪和浩 八木明日香</p>
内 容	<p>(1) 第2期藤枝市中心市街地活性化基本計画フォローアップ報告について</p> <p>(2) 情報交換</p>
会議の経過	<p>徳浪課長の司会により開会</p> <p>始めに、小林会長より挨拶があり、所属団体の役員改選等により、新たに委員になられた方の紹介を行った。</p> <p>§ 新たに委員になられた方</p> <p>青島第2自治会長 青島勝昭</p> <p>藤枝タクシー(株) 取締役支配人 本多和彦</p> <p>しずてつジャストライン(株) 運行企画部 部長 猪俣修一</p> <p>藤枝商工会議所専務理事 杉浦 衛</p> <p>§ オブザーバーの紹介</p> <p>藤枝警察署長 渡邊伸一(欠席)</p>

藤枝警察署 生活安全課生活安全対策係長 渡邊崇彦（代理）
交通課交通規制係長 石川武男（代理）
静岡県交通基盤部都市計画課 課長 古梶隆宏（欠席）
都市行政班主幹 浦山直己（代理）
静岡県経済産業部 商業まちづくり室長 影山敦彦（欠席）

（１） 第２期藤枝市中心市街地活性化基本計画のフォローアップ報告について

藤枝市役所中心市街地活性化推進課齋藤係長が資料に沿って説明を行った。

○第２期中心市街地活性化基本計画の概要を改めて説明

H25.4-H30.3の五ヵ年計画。81の事業のうち完了・着手済が75、未着手が6。

「来る人住む人充実満足 営みあふれ持続可能な“生活・交流都心”」をテーマに、3つの目標があり、それぞれに指標がある。

目標1 人々が活発に活動・交流し、にぎわうまち 指標1 歩行者通行量

目標2 志太榛原地域の核となるまち 指標2 従業者数

目標3 安全・安心に生活が完結し、持続するまち 指標3 居住人口

H27 歩行者通行量が前年比 704 増加の 9,515。H29 の目標値 10,350 なので、まだ及ばない状況。歩行者通行量が大幅に増加したのは、ホテルオーレオープンにより、駅南を中心に回遊性が生まれたことによる影響が大きい。

従業者数は、H27 は前年比 77 人増。初めて目標値に達した。青木に移転した法務局（焼津島田と統合）によることと、ホテルオーレを含む複合施設内に複数の業務施設が入ったことが大きい。

居住人口は前年に比べ 53 人増。駅前 2 丁目のファミリー向けの賃貸マンションの影響。青木のサーパスの完成・入居により、今後の増加も見込まれる。

○主な事業進捗状況

・保育・美容複合施設整備事業

西友跡地筋向いにPETZオープン。地域の子どもの預かる市内初の「事業所内保育所」

・青木三丁目マンション整備事業

4月までの分譲でほぼ完売している。

・街なかウェルカム&サポート事業

国の地方創生の交付金の事業で、中心市街地活性化推進課が担当。空港の利用で来日観光客が増えているので、冊子とアプリを作製していく。冊子は中心市街地の宿泊施設を中心にGWあけくらいまでに配布。アプリはバージョンアップを繰り返しながら情報発信していく。5/6より配信開始。

・中心市街地エリアブランド展開事業

中心市街地を3つのエリアにわけてロゴマークとイメージカラーを決定。市民に印象付けるよう、昨年度はマスメディア（テレビや情報誌）を活用して露出を展開、イメージアッ

プにつながった。

- ・て～しゃばストリート創造・発信オープンモール化事業

て～しゃばストリート事業とイルミネーション事業。昨年度は実験的に平日の夜にイベントを開催（love local MARKET）。マスコミにも大きく取り上げられ、すべての回で完売の店が出るほど。今後も開催していく。イルミネーションも風物詩として定着してきた。

- ・子育てにやさしいまちづくり推進事業

シネプレゴの協力で「ママシネマ」を開催。保育士を配備し、少し明るい場内で小さ子どもと一緒に映画が見られる企画。ママ向けのフリーマーケット「Dream マーケット」や「子育てママの自分磨き」も好評だった。

○平成 28 年度の主な事業

- ・藤枝駅前広場改修事業

現在のバス停ロータリーの一部が一丁目 8 街区再開発の区域であるため、改修工事を行う。一部の乗車場を移すこととなる。

- ・中心市街地エリアブランド事業

ワークショップ形式のセッションを行い、地域の魅力を発信する担い手を探す。また、情報誌の発行や静岡市街での PR を行い、藤枝の中活エリアへの定住を促進。

- ・て～しゃばストリート創造・発信オープンモール化事業

今年度は定着化・定番化を目指し毎月開催で取り組んでいく。4 月は 29 日の K・M I X オープンにあわせたイベント。5 月は人気の企画、ボンマルシェ。人が集まる企画にしていく。

- ・子育てにやさしいまちづくり推進事業

昨年度好評だった企画を複数回計画している。

- ・レンタサイクル事業

東海道地域まで広げられないか検討。岡部でもできないか等いろいろ考えている。

- ・シェアオフィス事業

まちづくり会社ではすでに行っている事業。要望の声が多いので、3D プリンターを配備した創業空間としての事例などを参考に検討。

○藤枝市のインバウンド対応

海外からの観光客をつかむために、補助金の創設、ホームページの多言語化、ガイドブックや指差しマニュアルの作成、免税対応への支援等々行っていく。

説明終了後、小林会長より、質問・意見を求めた。

（秋原委員より）

今回、一丁目 6 街区の計画が出てないが進捗状況はどうか。

⇒（増田課長が回答）

当街区については再開発準備組合として活動している。地権者すべてがまとまっているわけではない。まとめる方向で動いており、市でも支援をしている。

(寺島委員より)

一丁目8街区の件。駐車場の建設が始まっているようだが進捗状況はどうか。オープンがすべて同時と聞いている。H30.1 オープンと聞いているが、駐車場が少なく困るという声があるが、先に駐車場だけでもオープンするということが可能か。

⇒ (増田課長が回答)

H30.1 竣工を目指している。駐車場は着工しており、概ね仮のものが8月頃できあがる。1階については、バスロータリーの再開発に伴いバスを一旦受け入れる場所とする。2階は資材等のストックヤードとしてや、工事関係者の駐車スペースとして利用する。これにより、工事関係者が借りている周辺の駐車スペースも空くと考えている。

当駐車場は、建築基準法上、マンションと一体となった敷地となるので、マンションができないと完成とはみなされない。H30.1 という形の竣工としている。

なるべく可能な限り駐車場確保にはつとめる。

(北島委員より)

おもてなし強化の冊子を4000部作成で宿泊施設への配布とのことだが、駅前の商店にも外国人の来店が増えている。宿泊施設以外の物販・飲食のお店にも配布してもらいたい。

(齋藤係長が回答)

商店街の店舗にも冊子掲載のお願いをした。それらの掲載店舗にも配架する。

(2) 情報交換

(栃本委員より)

今年からイベント等がかなり増え、て〜しゃばストリートは毎月の開催となる。まちづくり会社だけではできないので、皆様のご協力をお願いしたい。イベント主催者の募集もかけて、名指しのお願いもしつつ進めていきたい。

(秋田委員より)

今年度は11月5日、6日に県武道館で産業祭を開催。まちづくりのて〜しゃばストリートと関連付けて行うのでご協力をお願いしたい。

(田口委員より)

インバウンド対応の話があったが、外国人観光客の藤枝の宿泊データを取っていないのか？

⇒ (齋藤係長が回答)

商業観光課が宿泊客数の調査を行っている。最近では外国人の利用者数についてもアンケートに含めている。

(田口委員より)

大学にも先生や生徒に外国人もいるので、なにか手伝いができるのではないかと協力させていただく。

(名倉委員より)

ホテルオーレが3月1日オープンした。テナントについても今日現在、全テナントが決まった。5月に2店舗、6月に2店舗オープンでし、全店舗オープンとなる。

駐車場を増やしている。A街区は440あったのが、第2～第4駐車場を増やし、760台を収容。

駐輪場は 400 強から 700 台に。駐車場利用は 3 月に入って 1 万台増えている。ホテルの宿泊は 3/1 のオープンからは 7 割前後、後半は 8 割近く。婚礼については、おかげさまで今年度 84 組が決まっている。すでに 10 組執り行われている。宴会も毎日入っている状況で、2,500 ～3,000 名がすでに利用してもらっている。

テナントの状況について。MI PLAZA は毎月 1 万人が利用。他の各テナントもかなりの集客。ホテルオーレ関連テナント全体で 3 月のレジ通過数は 26,000 人だった。A 街区は通行人も増えている。デイリーヤマザキは 3 月だけで 45,600 人の利用。4 万人/月のレジ通過数は、コンビニでは大型店の位置づけ。

今後もさらなる集客を目指す。イベントを行い、駅前広場での集客、まちなみの潤いを目指していきたい。社内でもチームを立ち上げて進めていきたい。

(鈴木健夫委員より) 資料 6

一丁目 8 街区の進捗状況について、だいぶ工事も進み、駐車場の鉄骨も建ってきた。

アーバンプラスビルについては、オーレの横に 5 月 22 日オープン。アスレジャーナとコラボして 5/3 プレオープンとなる。まちなのにぎわいに協力していきたい。

(栗田委員より)

第 2 期の計画は H29 で終了する。しかしまちづくりはそこで終わりではない。いろいろな制度が変わろうとしている。H29 以降はそんな状況にあわせて、先をつなげていきたい。

以上